

令和3年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ロリ州公共バス整備計画」 供与式の実施

令和4年8月29日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ロリ州公共バス整備計画」（供与限度額：91,206米ドル(9,850,248円)）の供与式が、ロリ州デベト村において行われました。本式典には、福島正則駐アルメニア日本国大使、アレグ・ホヴァニシヤン駐日アルメニア大使、ホヴァネス・アヴェティシヤン・ロリ州副知事、スレン・コスタンジャン・パンバック市長、被供与団体のコリョン・ハチャトゥリヤン「アルメニア児童慈善基金」事務局長等が出席し、その他各自自治体の長を含む計約30名が参加しました。

本計画は、ロリ州ヴァナゾール市とドツェフ村を結ぶ路線バスに障害者対応車両1台を整備することで、地域の公共交通サービスが障害者も利用可能なものになるように改善を図り、もって同地域の障害者を含む住民の生活環境の向上に寄与することを目的としています。本件実施の結果、路線バスの沿線6村に住む約50名の障害者を含む5,000名以上が、より充実した公共交通サービスを享受することが可能となります。